

## 機動建設工業

機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。

戦後間もない一九四六年の設立で、来年創立五十五周年を迎える。設立二年目に兵庫

# 企業最前線



「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

## 施工延長実績1870キロ

に、インターネットのホームページ上にタイムリーな技術情報の発信を行い、「技術の機

# シールド工法の代替を期待

## 社長 木村 信彦氏

△きむら・のぶひこ△

京大工学部大学院修士課程修了。57年京大助手、59年日本道路公団入社、62年機動建設工業監査役として入社、85年4月から社長。96年大証2部上場。69歳。滋賀県大津市出身。

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

「機動建設工業は、一スパン一〇メートル以上にわたり掘り進む長距離急曲線推進工法（アルティミット工法）などを使い下水道などのトンネル工事を手がける専門業者。独自の工法によるコスト競争力と技術力の強化で、シールド工法に比べ二割以上のコスト安、納期短縮を武器に、「従来の都市トンネル工事の主力工法だったシールド工法にかわる工法として普及に力をいれていく」と意欲をみせるのが木村信彦社長。」

化、一スパン延長一〇キロ以上の技術開発を完了した。さらに二年前から実用化した都心部の道路掘り起こさずに地中推進工事のできる「スレーション工法」も、道路上に立て坑を掘らないためバスや乗用車など交通機関の妨げに

【会社概要】▽本社 大阪府福島区福島4の6の31、806・6458・5461▽事業内容 地中管理設工事、プレストレストコンクリート工法事業▽売上高 290億円（2000年5月期予想）▽従業員 約460人。

火曜日に掲載